紡ぐ（つむぐ）
№１６３　令和６年10月２日
南教育事務所　社会教育チーム

放課後支援者研修会

9月18日(水)
浅舞地区交流センター

放課後子ども教室や放課後児童クラブ等に関わる皆様を対象に、子どもの理解を深め、日常の指導技術の向上をねらいとした研修会を開催しました。内容は、前半が県立稲川支援学校校長の小山高志氏による講話「様々な表情を見せる子どもたちと豊かな関係を築くために」、後半が県立保呂羽山少年自然の家主任社会教育主事湯野澤兄一氏と指導チームの皆様による実技研修「教室が笑顔になる関係づくりプログラムの体験」でした。合計170名を超える参加者の皆様の活気と笑顔あふれる研修会となりました。

【感想紹介：Ⅰ講話】
○とても優しいお話で、自分の反省点もありましたが、心がきれいになった気がします。全ての子どもが愛されて、幸せであるようにと思いました。
○自分を振り返ることができました。また、仕事に生かせる内容で大きな収穫になりました。
○「ありがとう」という言葉、「子どもは愛される権利がある」という言葉を大事にします。

【感想紹介：Ⅱ実技研修】
○とても楽しく研修を受けさせていただきました。早く子どもたちと実践したいと思います。
○子どもたちが楽しみながらよい関係を築けるように、学童でも行ってみたいと思いました。
○初めて会った人とでもすぐに楽しめてよかったです。職員同士、職員と子ども、みんな楽しい時間を過ごせそうです。

アドバイザーコラム③

『生涯にわたって読書に親しみ、心豊かに』

羽後町立図書館では様々なイベントを企画・実施し、来館者を楽しませています。８月、当館のイベント「2024夏図書館ワークショップへ GO!」に参加させていただきました。身近な科学の世界に触れる実験と工作に取り組んだ子どもたちは、ワークショップを通して大いに科学への興味・関心を高めていたようです。また、たくさんの夏休み企画展示の前で足を止め、わくわくする表情でおすすめの本を手に取っていました。

【実験・工作の様子】

今回のイベントは、地域の様々な世代の人たちが生活レベルで、また、生涯学習の場としても、必要としている情報やヒントが見つかる魅力的なツールの一つとなったに違いありません。職員の方にお話を伺うと、来館者・貸出冊数共に順調に伸びているとのことです。来館者の「よく来ますよ」「楽しかった」という声のとおり、必要とする確かな情報に手が届くことはもちろん、夢ふくらむ目にもうれしい掲示物、そして何よりもとても明るい館内で、心地よい時間を過ごすことができました。

【館内の様子】

※羽後町では、「ふるさとキャリア教育」推進のため、「羽後町職場体験プロジェクトみらいわーく」を実施しています。今回のイベントでは、スタッフとして４名の小・中学生が会場案内や受付などを体験しました。